

防犯モデルマンション認定制度への取り組み

株式会社タザワ電気 代表取締役
一般社団法人 京都府防犯設備協会 副会長
総合防犯設備士

田沢 直



私の所属している一般社団法人京都府防犯設備協会では、分譲ならびに賃貸マンションの防犯モデルマンション認定制度を実施しております。京都は学生の街であり、一人暮らしの学生なども多く、またファミリー向けのマンションも数多く建っております。そのため、昔ながらの近所付き合いも減ってきており、近隣関係も希薄になっており、その為か犯罪件数も高い水準で推移しております。そのような状況を改善しようということで各所機関と連携を取り、防犯モデルマンションの認定を行っております。2023年6月15日現在で京都府内における認定件数は、分譲マンションで167件の認定を行い、戸数でいうと8708戸にもものぼります。

また賃貸マンションにおいては、162件の認定を行い、戸数でいうと4361戸の認定を行っております。まだまだマンション件数の割には認定が少ないですが、地道な活動を行い、周知活動を行っております。

私は総合防犯設備士として、それらの審査・認定に携わらせていただいております。特に防犯モデル賃貸マンション認定制度においては、立ち上げから携わらせていただき数多くの審査・認定を行って参りました。

審査・認定を行う上で感じることは、オートロックが付いていることへの安心感が強く、集合玄関を通り抜けると、普通に傘などの私物が玄関においてあったり、酷いところでは住戸玄関の鍵が未施錠であったりと、無防備な状況を見受けることがあります。

また、せっかく防犯カメラが設置されているにも関わらず、設置場所や画角などが悪く性能が十分に発揮

できないような状況も数多く見かけることがあります。

当然ながら審査の際にはそれらを指摘し、改善いただくだけでなく、その重要性や必要性をご説明し、ご理解いただくようにしております。

やはりいくら防犯機器を設置しても、機能が十分に発揮できていなかったり、正しく運用されていなかったりすれば無意味なものとなりますし、いくら防犯性能を高めたとしても、オーナー様や管理会社様そして入居者様などが常に防犯意識を持って関わっていただければ、それもまた無意味なものとなります。

やはり、防犯機器などのハード面や防犯意識啓蒙などのソフト面、そして更には定期的に防犯環境の見直しを行うなどの運用面の3つが整って初めて防犯性能を維持することができるということになります。

私は審査・認定を行う時も、また防犯診断などを行う時も常にそれら3つを念頭に置き、ご提案させていただくようにしております。お金を掛けて防犯性能を高めることは誰でもできると思います。しかしながら我々防犯設備士は培った知識や経験、犯罪傾向などを基に安価で最大限の効果を生み出すことが使命であり、すなわちそれが安全・安心な街の実現への近道だと思っております。

あるオーナー様からは「防犯モデルマンションの認定を受けて私も入居者さんの意識も変わったよ!」というお声を頂いたり、「一人暮らしをさせる親御さんが防犯マンションだから安心して子供を住まわせることが出来るって言ってくれたよ!」など、嬉しい声を掛けていただくことも増えてきました。

そのことが私の遣り甲斐にもつながり、総合防犯設備士の資格を取って良かったと思える瞬間でもありません。それと同時に総合防犯設備士として、責任ある立場にあるという使命感も持つようになりました。

まだまだ世間では防犯モデルマンションの知名度も低く、知らない方も多いですが、オーナー様や入居者様の大切な命や財産を守るためにも今まで以上に認定件数を増やしていかなければならないと思っております。当然のことながら制度そのものの知名度も高めながら。

目下の目標としては、分譲も賃貸も認定件数200件を目指して参りたいと思います。

そしてその先は京都の街を防犯モデルマンションで埋め尽くせれば嬉しいです。

ここ数年はコロナ禍により、活動が制限され認定件数が伸び悩んでおりましたが、そろそろ本格的に再始動できることとなります。

人流も増え、犯罪件数も増加することが予想されます。今まで以上に我々の活躍が期待されると思っておりますし、防犯モデルマンションの重要性も高まってくると思われます。

そのためにも今後やるべきことは、制度の見直しとバージョンアップ、そして防犯設備士の有資格者を増やすことなどが課題となって参ります。

防犯設備士、防犯設備協会、そして防犯モデルマンション認定制度などなど、認知度を高めるための課題や問題は山積みではありますが、必要とされる人が必ずいらっしやると思います、必ず役に立っていると思います。

そのことに誇りを持ちながらこれからも邁進していきたいと思っております。

世の中の犯罪を未然に防ぐためにも。

